

スポーツ庁委託事業

「Special プロジェクト 2020」

(特別支援学校等を活用した障害者スポーツの拠点づくり事業)

平成 29 年度成果報告書

滋賀県

1. 経緯

近年、滋賀県内の障害者スポーツ大会参加者は高齢化し、参加者数は減少傾向にある。その背景には、余暇の多様化とともに福祉サービスをはじめ、就労機会が拡大されてきたことが考えられる。余暇の選択肢が増え、就労での社会参加が一般的になってきたことを喜ぶ一方で、障害のある人の運動機会が一般成人に比べ低いことも笹川スポーツ財団「地域における障害者スポーツ普及促進事業」（2016）の調査で明らかになっている。

平成 28 年度にスポーツ庁「特別支援学校等を活用した障害児・者のスポーツ活動実践事業」を受託し、パラスポーツチャレンジプロジェクトの事業名で休日に特別支援学校を地域開放し、知的障害者を対象にスポーツ教室を開催するとともに、県内に知的障害の活動チームがないバレーボール競技に着目し、チーム作りに取り組み始めた。

具体的には、教室開催までの準備として、地元のスポーツ関係者や当事者団体で運営委員会を組織し、手をつなぐ育成会や地元社会福祉協議会やグループホーム、作業所に協力いただき事業周知を行った。

また教室開催に際しては、総合型地域スポーツクラブや障がい者スポーツ指導員が支援スタッフとして関わり、軽スポーツやバレーボールの練習障害程度に合わせてスポーツ活動が行えるように配慮した。

しかし一方で、参加者の障害程度の幅が広がったため、体力やルールを理解、操作性など、参加者が個々に楽しめる活動レベルに差が生じており、一つのメニューを参加者全員で行うことが難しい状況であった。

本事業では、既存の教室開催のノウハウを生かしつつ、前述の課題を解決し、ニーズに合った教室運営を目指し、以下 2 種類の教室を再委託により運営することとする。

- ①定期的に体を動かしたい人向けの軽スポーツ教室
- ②バレーボールに興味を持つ人向けのバレーボール教室

2. 目的

本事業では、県内特別支援学校のうち 1 校を対象として、休日に体育施設を地域に開放し、近隣の障害者、その保護者やスポーツ関係者を交えたスポーツ活動が定期的に実施できるよう試み、在学中、卒業後も当事者が慣れ親しんだ環境でスポーツを継続的に実施することができる環境づくりを目指した。また、2024 年に滋賀県で開催される全国障害者スポーツ大会に向けて、これまで滋賀県内になかった全国障害者スポーツ大会の団体種目のチーム創出を目指した。

3. 実績

- ・スポーツ教室は、知的障害者を対象に全12回実施した。(日程は別紙の通り)
- ・事業の実施体制については、パラスポーツチャレンジプロジェクト実行委員会を組織し、特別支援学校を拠点とするスポーツ活動の場を作るため、スポーツ教室の運営について全3回実施した。(実行委員の所属は別紙のとおり)
- ・この委員の構成は、進捗管理やスポーツ教室の運営に幅広い意見がもらえるよう、特別支援学校、滋賀県障害者スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、手をつなぐ育成会、バレーボール連盟、滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会、滋賀県県民生活部スポーツ局(事務局)とした。
- ・教室の概要(参加者のべ104人)
- ・スタッフは、当事者団体である手をつなぐ育成会、障害者スポーツ協会、バレーボール連盟、障がい者スポーツ指導員、総合型地域スポーツクラブに協力を依頼した。

教室	参加人数	指導者数	内容
第1回	6人	7人	・体操(アスリート向け・体幹トレーニング) ・バレーボール
第2回	6人	7人	・体操(アスリート向け・体幹トレーニング) ・バレーボール
第3回	3人	7人	・体操(簡単なエクササイズ・身体を使った遊び) ・カローリング(フロア上で楽しむカローリング)
第4回	8人	7人	・体操(簡単なエクササイズ、身体を使った遊び) ・ドッジビー ・おじゃビンゴ(湖南市発祥のお手玉を使ったビンゴ遊び)
第5回	9人	6人	・体操(アスリート向け・体幹トレーニング) ・バレーボール
第6回	5人	6人	・体操(簡単なエクササイズ、身体を使った遊び) ・カローリング(フロア上で楽しむカローリング) ・ペタンク(屋内ペタンク)
第7回	8人	6人	・体操(アスリート向け・体幹トレーニング) ・バレーボール
第8回	15人	10人	・体操(簡単なエクササイズ、身体を使った遊び) ・キンボール・風船(カナダ発祥の大きな風船を使った遊び) ・ドッジビー ・スポーツ吹き矢(吹き矢を使った的当てスポーツ)
第9回	8人	7人	・体操(アスリート向け・体幹トレーニング) ・バレーボール
第10回	18人	9人	・体操(簡単なエクササイズ、身体を使った遊び) ・スポーツ吹き矢 ・おじゃビンゴ ・パラシュット(大きな布を使ったスポーツ) ・お手玉あそび(お手玉を使ったスポーツ)
第11回	9人	7人	・体操(アスリート向けエクササイズ・体幹トレーニング・ラダートレーニング) ・バレーボール
第12回	9人	7人	・バレーボール

4. 効果

- ・今年度、子どもと保護者が一緒になって活動できるようになってきた。
- ・教室を継続してきたことで、参加者とちよいスポクラブのスタッフとのコミュニケーションが増えてきた。
- ・参加者同士が仲良くなってきた。
- ・障害者のためのスポーツ教室を基に、障害のあるなしに関わらず、スポーツを通じた交流を創出した。
- ・地域の関係者に委託して事業を実施したことで、自分たちの地元で障害者スポーツを振興するという意識が高まった。
- ・市町単位での障害者スポーツの振興に必要な情報や資源を獲得するために地元の関係者と積極的につながっていく動きが出てきた。

5. 課題

- ・都市部ではないため、会場までのアクセスが悪い。
- ・また、障害が理由で自力で公共交通機関を使用できる人は少ない。
- ・知的障害の程度に差があり、同一の場所、時間で教室を運営することが難しい。
- ・月一回程度のバレーボール教室開催では、技術の習得等の積み上げが難しい。

6. 今後

- ・三雲養護学校が障害者スポーツの拠点となるよう近隣の教育、福祉との連携さらに進めていく必要がある。
- ・新規の参加者の獲得には、社会福祉協議会の協力をより求める必要がある。
- ・湖南市内小中学校の特別支援学級への周知のため、教育委員会へアプローチをする。

(別紙)

実施日程表(実績)

実施時期	計画事項		備考(委員会の内容)
	(1) 推進委員会	(2) スポーツ教室	
4月			
5月			契約締結・再委託
6月			委員推薦・
7月			教室実施に向けての打ち合わせ
8月		第1回	
9月	第1回	第2回	事業目的・計画共有・正副委員長選任
10月			
11月		第3, 4, 5回	
12月		第6, 7回	
1月	第2回	第8, 9回	進捗確認・情報共有
2月	第3回	第10, 11, 12回	反省・今後に向けての課題整理
3月			

平成29年度パラスポーツチャレンジプロジェクト実行委員会 所属団体

No.	所属団体
1	滋賀県立三雲養護学校
2	滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会
3	湖南市ちよいスポクラブ
4	公益財団法人湖南市文化体育振興事業団
5	湖南市手をつなぐ親の会
6	甲賀市手をつなぐ育成会
7	甲賀市バレーボール協会
8	滋賀県障害者スポーツ協会

<参考資料>

たいけんから!

スポーツ体験会

バレーボールサマースクール

スポーツの秋がやってくるちょっと前にスピード&ジャンプ
のバレーボールを体験してみませんか。

バレーボール(チームスポーツ)に興味のある君たちの参加を
まっています!

日時 8月27日(日曜日) 午後1時30分~午後3時

会場 湖南省総合体育館

[滋賀県湖南省夏見589番地]

参加費 無料です!

対象 滋賀県在住の知的障がい者バレーボールに興味のある人

申込 当日受付

※当日は動きやすい服装で上履きを持参ください。



(連絡先)

湖南省総合体育館

TEL 0748-72-4990

Fax 0748-72-7117

主催 (公財)湖南省文化体育振興事業団&湖南省ちよいスポクラブ
パラスポーツチャレンジプロジェクト・滋賀県競技力向上対策本部

スポーツ&トライアル

スポーツの時期がやってきました！
今年からバレーボールのほかにも、いろいろなスポーツ
を楽しむ場へステップアップ。スポーツに挑戦しよう！

日時 11月11日、25日 12月16日
1月20日 2月10日 <全5回・毎回土曜日>
午前10時～午前11時30分

会場

けんいつみくもようごがっこうたいいくかん
県立三雲養護学校体育館
[滋賀県湖南市柑子袋1546]



参加費

むりよう
無料です！

対象

きょうみ
知的障がい者スポーツに興味のある人

申込

とうじつうけつけ
当日受付

あそび うえはき じざん
※当日は動きやすい服装で上履きを持参ください。



(連絡先)

湖南市総合体育館

TEL 0748-12-4990

Fax 0748-12-1117

主催 (公財)湖南市文化体育振興事業団&湖南市ちよいスポクラブ
パラスポーツチャレンジプロジェクト・滋賀県競技力向上対策本部